



B病棟3階(産科・婦人科)

私は助産師として産婦人科病棟で勤務しています。当院は総合周産期母子医療センターとして高度な医療を必要とする妊産婦さんが入院しておられます。この1年で妊娠期における入院中の管理や分娩、産褥期の授乳、育児支援、婦人科では手術や化学療法など多くのことを経験しました。また、患者さんとの日々のかかわりの中で精神面へのケアやその人らしさを大切にする看護を学ばせていただきました。妊産婦、新生児のアセスメントやケアについて難しさを感じる場面も多いですが、先輩方や同期に助けをもらいながら業務に取り組むことができます。これからも患者さんとその家族に寄り添った看護を提供できるように知識、技術の向上に努めていきたいです。



ICU

私は、ICUで勤務しています。ICUでは重症度の高い様々な疾患の患者さんが入院しており、看護師や医師だけでなく多職種で情報共有を行い、患者さんへ質の高い看護が提供できるよう、日々努めています。そのためには、患者さんやご家族だけでなく多職種とのコミュニケーション能力や疾患・病態の理解が重要になります。先輩看護師や多職種による勉強会もあり学ぶ機会が豊富にあります。まだ知識不足で不安な事も多いですが、経験豊富な先輩達や同期に助けをもらいながら日々やりがいを持ち、成長できる職場であり、患者さんにご家族に安心して治療を受けて頂けるよう日々頑張っています。ぜひ一緒に学び、働きましょう。



B病棟6階(外科)

私は、呼吸器外科、心血管外科を含む外科病棟で勤務しています。入職当初は周術期管理が自分のできるかどうか不安でした。しかし、この一年でドレーン管理・心電図モニタリング・麻薬などの管理や、精神的支援、多職種と連携して行う退院支援など様々なことを経験し、チームの一員として業務できるようになりました。当院は新人教育研修が充実しており、実践的な演習を通して学ぶことができますので安心して臨床で実践できます。また、しっかり向き合ってくれる実地指導者の先輩をはじめ優しい先輩方が支えてくださるので楽しく働くことができます。これからも自己研鑽を重ね、患者さんやご家族に安心していただけるよう一人ひとりに寄り添った看護ができる看護師に成長していきたいです。

高度外傷センター

高度外傷センターでは交通事故など不慮の事故により、生命の危機に瀕した専門的な外傷治療が必要な重症患者さんを受け入れています。当センターはハイブリッドERを有しており、初期診療と並行して緊急CT検査、手術、血管内治療が実施できる体制を整備しています。

ドクターカーは島根県全域を対象とし年間約400件の出動があり、医師・看護師・救命士が一刻も早く治療を開始できるよう現場に向かいます。多職種との連携をして患者さんの命を守る事、そして入院前の生活に1日でも早く戻れるよう、スタッフ一丸となって懸命に取り組んでいます。



▲ハイブリッドER
▼ドクターカーに向かいます



Shimane University Hospital
島根大学医学部附属病院 看護部

2026年度
看護職員募集案内

募集職種：看護師 **56**名程度 / 助産師 **4**名程度



島根大学医学部附属病院の理念 「地域医療と先進医療が調和する大学病院」
 看護部の理念 「地域に信頼される質の高い看護を提供します」

「地域に信頼される質の高い看護の提供」を目指し、共に学び、共に成長できる仲間を募集しています。

看護部 看護部長 かわかみ としえ 川上 利枝



当院は「地域医療と先進医療が調和する大学病院」の理念のもと、県内唯一の特定機能病院として先進医療の提供とともに、地域医療へ貢献するため職員一体となり最善の医療の提供に努めています。

看護部では、「地域に信頼される質の高い看護の提供」を基本理念として、看護の専門性を発揮し、多職種連携により患者さん、ご家族のニーズを把握しながら入院前、入院中から退院後の生活を見据えた在宅療養支援への取り組み等、安全、安心で質の高い看護の提供に取り組んでいます。

新人研修をはじめとする院内教育体制も充実しており、認定資格取得や看護師特定行為研修のキャリアアップ支援等、働きながら継続して学び続けることができる体制を整えています。

職員一人ひとりがやりがいを持ち、働き続けられる職場づくりを目指しており、多くの職員が育児や介護の制度を活用しながら継続して働き続けています。

皆様と一緒に働ける日を楽しみにしております。皆様のご応募を心よりお待ちしております。

島根大学医学部附属病院の「看護提供体制」は PNS® で行っています。

PNS® Partnership Nursing System
 (パートナーシップ・ナーシング・システム)

年間のパートナーや日々のペアとなった看護師が、受け持ち患者に関するすべての事柄を確認し、情報交換を行いながら二人三脚で看護を提供する方式です。



新人研修で培う看護の基盤。実践的な研修を通してあなたの成長を支援！

新人研修
 卒後一年目は
看護の基盤づくり

▼

看護技術の実践

▼

コミュニケーション
 ●人間関係の構築 ●職場環境への適応促進

▼

臨床看護への不安の軽減

フィジカルアセスメント研修

患者さんの異常の早期発見と対処のために全身状態の観察とその意味を学びます。

抗がん薬の安全な取り扱い曝露防止研修

抗がん薬を安全に取り扱うための知識、技術を学びます。

4月

新採用者入職時研修

点滴準備研修 BLS

6月

7月

看護技術演習
 輸液ポンプ・シリンジポンプを使用した輸液管理

8月

9月

リフレッシュ研修

職場を離れて、国立公園三瓶山で、講習や交流会を通してリフレッシュします。

10-12月

院内ローテーション研修
 自部署で経験できない技術を学び部署での看護に活かす

クリティカル部門

手術部 他病棟 自部署

1月

2-3月

静脈注射研修

静脈注射を安全に実施するために知識・技術を習得します。

成長体験発表

頑張ったこと、辛かったことなど、成長体験として発表します。看護部のみならず1年間を共有する時間です。

